



2016
夏季号

ほっと石川

家族でしっかり考えよう
「防災のこと」

就職も、定住も、
結婚も、子育ても
暮らしやすい石川県に

家族でしっかり考えよう
「防災のこと」…………… 2

就職も、定住も、結婚も、子育ても
暮らしやすい石川県に… 6

今年4月リニューアル。
見学がOKに！
「石川県文化財保存修復工房」…10

知事の窓 …………… 11

ほほえみ 石川のボランティア
能登町老人保健ビクター会
(能登町) …………… 11

夏休み
どこ行く？ なにする？ …… 12

「観光」で石川県を
さらに元気に！ …………… 16

表紙について

■シリーズ
いしかわの歳時記

手取の火まつり (川北町)

大勢の人出でにぎわう「手取の火まつり(川北まつり)」。今年は8月6日に開催される予定で、その名の通り、夜空を焦がすように燃え上がる高さ46メートルの大きな火や、県内最大級の2万発の花火大会など、「火」に関連した見どころがいっぱいです。これからの季節、皆様のご家庭でも、花火やバーベキューなどを楽しまれる方も多いかと思いますが、くれぐれも火の取り扱いにはご注意ください。加えて、県民の皆さんに注意してほしいのが「災害」です。2ページから特集していますので、ぜひチェックしてください。

表紙切り絵制作 / さぶさちえ (金沢市出身)



家族でしっかり考えよう 「防災のこと」

今年4月、震度7を2度観測するなど大きな揺れが相次いだ熊本地震は、熊本県を中心に甚大な被害をもたらしました。石川県でも能登半島地震や浅野川水害が起こったように、自然災害は、いつどこで発生するか分かりません。万一の事態に遭遇した際に生かされるのは、日ごろからの備えです。県民の皆さんも、大切な人の命と財産を守る「防災」について理解を深めておきましょう。

地震や台風、集中豪雨など、自然災害による深刻な被害が毎年のように起こっています。県災害危機管理アドバイザーの室崎益輝先生に、心がけておく防災のポイントを聞きました。



県災害危機管理アドバイザー
むろさき ますてる
室崎 益輝さん
神戸大学名誉教授
兵庫県立大学防災教育研究センター長など

「自助」が第一 防災訓練を実施

災害が発生した際、まず大切なことは、自分の身は自分で守る「自助」です。東日本大震災(平成23年)でも、住民一人ひとりが身の安全を確保するためにとった素早い行動が被害の予防・軽減につながりました。県では、県民の皆さんが自助の意識を高め、適切な行動をとれるよう、さまざまな防災訓練を実施しています。7月8日に実施した「県民一斉防災訓練(シェイクアウトいしかわ)」もその一つです。学校や保育所、企業など、だれでも、どこでも、気軽に参加できるこの訓練では、決められた日時に一斉にその場で「しゃが

む、隠れる、じっとする」といった安全行動を約1分間行いました。また、防災関係機関や地域住民の皆さんが参加する県防災総合訓練を実施しています。皆さんもぜひ参加してください。



県防災総合訓練では、土砂災害を想定した要支援者の避難訓練などを実施しました



シェイクアウトいしかわでは、安全行動を体験

石川から被災地を支援

石川県では、被災地の要望を聞きながら熊本地震の被災地支援を行っています。県立中央病院の医師や看護師らで結成する医療救護班をはじめ、被災者の健康管理を行う保健師、管理栄養士、心のケアを行う災害派遣精神医療チーム「DPAT(ディーパット)」、建物・宅地の状態を調査する危険度判定士などを熊本に派遣しました。

また、避難所の運営支援のため南阿蘇村への職員の派遣、世界農業遺産の認定地域である阿蘇地域5市町村に紙おむつやアルファ化米などの救援物資の提供などを行いました。

point 04
持ち出し袋に必要なものを

非常持ち出し袋は水や携帯ラジオなどに加え、持病のある方は薬、赤ちゃんのいる方はおむつなど、ご家庭ごとに必要なものをそろえましょう。

point 03
地域の絆を強く

災害時の大きな支えになるのが、隣近所の方や近くに住む友人です。日ごろから行事に参加するなど関わりを強め、地域のネットワークを築いておきましょう。町内の高齢者の状況などを把握しておくことも、被害を少なくする上で重要です。

point 02
身を守る行動をイメージ

日ごろから災害が起こったときに自分の身を守る行動をイメージしておきましょう。災害はいつ発生するかわかりません。自宅や職場、電車の中など、さまざまな状況を想定してみてください。

point 05
避難勧告時はすぐ行動

集中豪雨時の土砂災害など、危険を感じてから逃げても間に合わない場合があります。避難勧告・指示があった場合は、すぐに行動しましょう。たとえ市や町からの勧告がなくても、山鳴りや河川の異常な濁りなどの前兆現象があれば、避難しましょう。

point 06
家族で話し合いを

年に2~3回は家族で防災について考えましょう。緊急時の連絡方法や集合場所などを確認し、電気、ガス、水道が止まった場合の暮らしを想定し、実践しておくことも効果的です。

point 01
危険を知ることが第一

お住まいの地域周辺の危険箇所を知っておくことが大切です。土砂災害や津波、洪水などの災害が想定される区域をまとめた市町の防災マップなどを確認しておきましょう。地震に対しては、家具を固定したり、住宅の耐震化を行ったりし、安全な場所を確保しましょう。

※このほかに、心がけておくことはたくさんあります。石川県ホームページの防災情報などをご確認ください。大切な人を守るため、皆さん一人ひとりができる範囲で事前に準備しましょう。

女性防災士育成に注力 今年度中に1000人へ

能登半島地震を 教訓に 地域防災力向上を 進める

地域の住民同士が支え合う「互助」の重要性の認識が高まっています。能登半島地震（平成19年）では、地域住民のネットワークが迅速な安否確認につながったことから、県では、互助の要となる自



自主防災組織が主体となって避難所運営訓練を実施

主防災組織の充実・強化を図っています。こうした取り組みの核となるのが、自主防災組織でリーダーとしての役割が期待され

る「防災士」です。県では平成20年度からその育成を進め、平成26年度には皆さんのご協力もあり、計画よりも2年早く、目標数の3000人を突破。4000人に増やす新たな目標も、今年度中には達成できる見通しです。

また、避難所では授乳や着替えの場所の確保など、女性への配慮が大切です。女性の視点での防災力を高めるため、女性の防災士の活躍が求められています。県内には現在、約600人の女性の防災士がおり、平成27年度末現在で人口比で全国4位となっています。今年度はさらに400人を育成し、平成23年度の10倍増となる1000人の女性の防災士を確保する計画です。

【問い合わせ】
県危機対策課
TEL 076 (225) 1482



女性の防災士が中心となり、段ボールトイレを製作

災害発生に備え 素早い対応体制を構築

災害発生時に命を守るためには、一刻も早い救命医療が求められます。県では、災害発生後48時間程度の初期のうちに災害現場で活動する災害派遣医療チーム「DMAT」(※)を平成26年度まで

に県内全域の災害拠点病院など12病院に配備しました。DMATは、医師や看護師、業務調整員で構成し、災害現場や被災地で救命に取り組みするために十分なトレーニングを積んだ専門チームです。県では、DMATの活動に必要な災害派遣用車両や災害時にも使える衛星電話、医療器具を整備するなど、体制強化に努めています。平成28年度からは、技能や資質の向上に向けた研修・訓練など、さらなるレベルアップを目指した取り組みを本格化しています。

さらに、県では関係機関や団体とさまざまな協定を締結して



県立中央病院のDMATのメンバーが、医療救護班として熊本地震の被災者支援にあたりました

り、コンビニや飲食店には徒歩で帰宅する人へのサポートを、県漁業協同組合などには海上からの被災者の避難などをお願いしています。県トラック協会とは、加盟企業のトラックを救済物資の輸送に活用する体制を整えています。

※DMAT(ディーマット)
災害派遣医療チーム(Disaater Medical Assistance Team)の頭文字

未然防止や 被害軽減にも力

災害による被害を未然に防いだり、軽減したりする取り組みも重要です。例えば、大地震から自分の身を守るには、住宅の耐震化が欠かせません。阪神・淡路大震災(平成7年)などでは、新耐震基準が導入される昭和56(1981)年5月以前に建てられた住宅などに大きな被害が見られました。県では、新耐震基準前に建築した住宅に対して耐震診断と耐震化工事を勧めています。

県内の住宅耐震化率は76%(平成25年)と全国平均82%を下回っているのが実情です。県では、出前説明会やイベントなどを通して住宅の耐震化の普及・啓発に力を



影響が大きい土砂の堆積を計画的に進めています。写真上が除去前、下が除去後の八丁川(小松市)

入れており、耐震診断や改修への補助制度も用意しています。昭和56年5月以前に建築された住宅にお住まいの方は、市町の担当窓口にご相談ください。

また、地震や豪雨による落石や落橋などの被害が発生しないよう、県では、緊急度の高い箇所から斜面対策や耐震補強を実施し、災害に強い道づくりを進めています。

このほか、土石流が発生しやすい箇所に砂防堰堤を新設したり、河川の拡幅や堆積土砂を除去したりするなど、豪雨災害を防ぐための治水対策も行っています。こうした除去工事を行った河川では、平成25年に発生した集中豪雨の際も、氾濫することなく、浸水被害がありませんでした。

女性が元氣な 避難所は明るい

災害の現場に女性の力は欠かせません。東日本大震災の際に避難所を運営していたNPOや地域の方を対象に、聞き取り調査を実施したところ、スタッフに女性がいた避難所ほど、避難生活やその後の自立がスムーズに進んでいる傾向がありました。私は、女性の利点の一つに笑顔があると思います。重く沈みがちな避難所生活の中でも、女性のソフトな対応が、被災者の心を支えているのです。

それに女性の中には、話し好きな方がたくさんいます。「あそこのおばあちゃんはずが悪い」「隣の夫婦に赤ちゃんが生まれた」などの情報が、災害時に地域住民の安全を守ることに繋がります。もちろん、乳児のいるお母さんの手助けに、女性の視点が活かされるケースも多く、防災士などとしてもっと多くの女性に活躍してほしいと考えています。



石川県災害ボランティア協会
副会長・防災士
木下千鶴さん



県立中央病院
救命救急診療センター室長・DMAT
明星康裕さん

県が派遣する医療救護班の一員として、熊本地震発生から6日後に被災地を訪れ、避難所を巡回して診療を行いました。私が要請を受けて足を運んだ時は、災害発生後の初期段階における救命救急などの医療活動はしっかり行われていて、DMATが力を発揮したという印象を受けました。「災害医療」は阪神・淡路大震災を境に注目を集め、東日本大震災後、全国的にDMATの整備が進められ、その体制が今回の地震で機能したのだと思います。

もちろん、常に災害医療体制の強化に努めていく必要があります。石川県内ではDMATを配備する災害拠点病院などが参加して、定期的に会議の場を設けるなど病院間の連携を深めています。

今回のような地震だけでなく、集中豪雨や火山の噴火、そしてテロなど、私たちの身の回りには、さまざまな危険が考えられます。十分に備えておくことが大切であり、県内のDMATも、より積極的な活動で、安全・安心な地域づくりに少しでも貢献していきたいと思っています。

INTERVIEW

INTERVIEW

VOICE

ILAC UIターンサポート石川
移住・就職マッチング支援員リーダー

かどや じゅんこ
角谷 淳子さん

一人ひとりに 寄り添った支援に力



開設から3カ月、ILACには、移住・就職の相談が予想を上回る351件も寄せられています(6月25日現在)。さらに、既に移住された方や東京で働くお子さんの帰郷を願う親御さんなど、相談に訪れる方の年齢や目的もさまざまです。ですから、私たちスタッフも、ハ

ローワークやジョブカフェ石川など、同じセンター内に入居する機関とはもちろんのこと、県内市町とも連携し、多岐にわたる相談にきめ細かく対応しています。

人生において、移住や転職は大きな決断です。UIターンサポート石川では、石川県での新たな生活を快適にスタートしていただけるよう、一人ひとりに寄り添った支援に力を注いでいきます。

インターンシップフェス



COCプラスに参加する県内大学などと連携し、インターンシップフェスを開催。首都圏や関西圏の大学に進学した学生にもたくさん参加していただきました



一方、ILAC東京は、北陸新幹線開業で身近になった首都圏からのUIターンを促進する拠点です。東京駅から徒歩3分とアクセスしやすい場所にあるILAC東京では、専任スタッフがパソナの約60万人にも及ぶ求職者データを活用してUIターン希望者の掘り起こしなどに努め、常に金沢のILACと連携したサポートを展開しています。



ILAC東京は東京駅から徒歩すぐ。金沢のILACと連携しながら、首都圏からのUIターンに取り組んでいます

東京駅から徒歩3分 UIターンを促進

やすさなどの情報を積極的に発信しています。

学生の県内就職を 10%アップへ

石川県は大学などの高等教育機関が集積しており、進学者の多

い10代後半では転入が多い半面、卒業後の20代前半では転出が大幅に上回っています。そこで、学生の県内就職をいかに増やすかが重要な課題となっています。県では、県内大学に通う学生の県内就職者と、県内高校出身者で県外大学に進学した学生のUIターン就職者を平成32年までにそれぞれ10%増やす計画を立てています。その一環として、学生と県内企業の貴重な出会いの場となるインターンシップ(就業体験)の促進に取り組んでいます。

5月には県産業展示館で、インターンシップへの参加を考える学生が受け入れ企業から直接説明を聞くことができる「インターンシップフェス」を開催しました。2年目となる今回は、県内8大学でつくる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)*」の活動と連動しています。参加した学生は前年に比べて約400人増となる1000人を超え、参加ブースも40%増の133社・団体となりました。その結果、同フェスでは前年の約1.6倍となる593件のインターンシップが決まり、夏休みを中心に実施される予定です。

●問い合わせ
県人材確保定住政策推進室
TEL076(225)1532

* 文部科学省の採択を受けて、金沢大学など8大学が県や市町・企業・団体と連携し、オールいしかわの体制で、学生の県内就職の促進に取り組む事業



移住・就職を支援するUIターンサポート石川をはじめ、県本多の森庁舎(写真右)内に多彩な相談窓口を開設



活力あるふるさとづくりには、人口減少に歯止めをかけることが不可欠です。地元就職の促進や少子化対策など、多彩な施策を進めてきた石川県では今年度、さらにそのギアを上げた取り組みを加速させています。



就職も、定住も、結婚も、子育ても 暮らしやすい石川県に

ILACに就職や移住・定住のサポート機能を集約

いしかわ就職・定住 総合サポートセンター (ILAC)

金沢市石引 4-17-1 県本多の森庁舎

●開館時間/月～土曜 9:00～18:00
(年末年始、祝日を除く)

※一部、土曜日が閉所となる機関があるため、事前にご確認ください

ishikawa-ilac.jp/

移住・転職の相談がしたい

- 移住・転職をサポート
UIターンサポート石川
■ 定住・就職 TEL.076(235)4540
■ 人材活用 TEL.076(235)4538

就職の相談がしたい

- 学生の就活をサポート
ジョブカフェ石川
TEL.076(235)4513
- 女性の再就職をサポート
女性キャリアサポート石川
TEL.076(231)3149
- 若者の職業的自立をサポート
若者サポートステーション石川
TEL.076(235)3060

仕事を紹介してほしい

- 福祉のお仕事紹介
福サポいしかわ
TEL.076(234)1151
- いろいろなお仕事紹介
しごとプラザ金沢
TEL.076(223)0765
- 若者のお仕事紹介
ヤングハローワーク金沢
金沢新卒応援ハローワーク
TEL.076(261)9453
- 子育て世代のお仕事紹介
マザーズハローワーク金沢
TEL.076(261)0026

就職・移住など 多様な相談に対応

人口減少に歯止めをかける大きな柱の一つが、県内から県外への人口転出を抑え、県外から県内への転入を促す人口の社会減対策です。県では今年4月、社会減対策を推し進める拠点として、金沢市の県本多の森庁舎に「いしかわ就職・定住総合サポートセン

ター(ILAC)*、東京・大手町のパナグループ本部内に「いしかわ移住UIターン相談センター」(ILAC東京)を開設しました。ILACは、県内での就職や県外からの移住をまとめてサポートするワンストップの相談窓口で、学生や女性、移住希望者など多様な相談に対応するサポート体制が整っています。ILAC内の移住希望者向け相談窓口「U

インターンサポート石川」では、大手人材紹介会社(株)パソナのスタッフが常駐し、市町と連携して生活環境の情報、就職の斡旋など、相談者の移住・転職をトータルでバックアップしています。このほか、介護職員や保育士など福祉分野の職業紹介を行う「福サポいしかわ」では、ハローワークと連携し、求人や求職者のニーズにきめ細かに応えています。

そんな思いに応える「ILAC」がオープン

石川で働きたい、暮らしたい。

* ILAC …… いしかわ就職・定住総合サポートセンター (Ishikawa Life And Career Total Support Center) の略



結婚から妊娠・出産、子育てまで

切れ目のないサポートを展開

いしかわ結婚支援センターを開所

人口減少が進む中、自然減対策の柱となるのが、結婚・妊娠・出産、子育てへの支援です。特に未婚化・晩婚化に対する取り組みとして、官民が一体となって結婚を希望する若者への支援を強化します。今年4月には、いしかわ子育て支援財団を「いしかわ結婚・子育て支援財団」に改称し、同財団内に「いしかわ結婚支援センター」を開所しました。

●問い合わせ
いしかわ結婚支援センター
TEL 076(255)1543



いしかわ結婚・子育て支援財団内に、いしかわ結婚支援センターをオープン

第2子以降の不妊治療費も助成

県では、子どもを望む夫婦をサポートするため、不妊に関する相談から初期段階の治療、体外受精などの高度な治療まで切れ目のない支援を実施しています。さらに、男性への不妊治療を支援する助成制度も設けるなど、経済的負担の軽減を図っています。こうした中、国の制度では、今年度から高度な不妊治療に対する助成が1夫婦につき従来の10回から6回に削減されました。こ

●問い合わせ
県少子化対策監室
■不妊治療
TEL 076(225)1424

多子世帯への経済的支援を充実

大都市圏で課題となっている保育所の待機児童数がゼロであるなど、子育てしやすい環境が整っている点も、石川県の大きな特色の一つです。県内の店舗や施設で商品や飲食代の割引など、さまざまな特典が受けられるプレミアム・パスポートや、一定の所得以下の世帯の第3子以降を対象とした保育所・幼稚園などの保



放課後児童クラブ

子育てしながら安心して働ける環境の整備として、第3子以降を対象とした放課後児童クラブの利用料原則無料化など多彩な支援策を用意しています

育料の無料化など、多子世帯への経済的な支援が充実しています。今年度からは、一定の所得以下の世帯の第3子以降を対象に、小学生が通う放課後児童クラブの利用料を無料化し、多子世帯の経済的不安のさらなる軽減に取り組んでいます。 並行して、育児に関する精神的な不安に応える施策には、「マイ保育園登録制度」(金沢市では「かなざわ子育て夢ステーション」を実施)があります。出産前後から3歳までの期間は、特に子育てに対する不安が大きな時期です。マイ保育園登録制度は、この時期に



マイ保育園では、妊娠期の育児体験や出産後の一時保育サービスなどが受けられます

在宅で育児をする家庭が利用登録した保育所などで、妊娠中は育児体験ができ、出産後は一時保育サービスなどを利用できます。このほかにも、県では多彩な子育て支援に取り組んでおり、結婚や出産の希望がかない、安心して子どもを生み育てられる環境の整備を積極的に進めています。

●問い合わせ
県少子化対策監室
■保育料無料化、マイ保育園
TEL 076(225)1421
■放課後児童クラブ利用料無料化
TEL 076(225)1422

イベント情報

結婚を希望する若者や子育て中の方々を対象とした多彩な講座を開講しています。ぜひご参加ください。

ときめき婚活スクール

結婚を希望する独身男女に、コミュニケーションやマナー、身だしなみなど、さまざまなテーマで講座を開催。いしかわ結婚支援センターホームページの応募フォームで参加希望者を受け付けています。



[問い合わせ]
いしかわ結婚支援センター TEL .076(255)1543
URL●i-oyacom.net/kekkon/school/

パパ子育て講座

主に働くお父さんを対象に子育て講座を開催したい企業・団体などを募集中。和やかな雰囲気できれいに楽しめる講座です。



ワーママを楽しむ会

主に働くママ同士が悩みを共有し、解決のヒントを見つける会です。奇数月第4日曜にいしかわ子ども交流センター(金沢市法島町)で開催中。「話す会」は予約不要、講師を招く「学ぶ会」は要予約です。



[パパ子育て講座・ワーママを楽しむ会 問い合わせ]
県少子化対策監室 TEL .076(225)1447
URL●i-oyacom.net/wlb/

VOICE

県では、仕事と子育ての両立をサポートするために、さまざまな事業を実施しています。今回は、「パパ子育て講座」「ワーママを楽しむ会」の講師2人にお話を聞きました。

パパの育児を応援!

パパ子育て講座講師
高木 真理子さん

子育てについて夫婦で意見のすり合わせを

昔と比べて、育児にかかわる父親は増えています。ただ、子育てに積極的な男性を「イクメン」と褒めたたえることに違和感を覚えます。そもそも子育ては夫婦がともに協力し合って取り組むのが当たり前と思うからです。何よりママたちへのねぎらいを忘れてはいけません。イクメンが話題になる現状は、父親の育児参加の持つ本来の意味がまだまだ浸透していないということだと思います。

子育てをしていく上で大切なのは、夫婦でよく話し合い、どう子育てしていくか、お互いの意見をすり合わせ子どもと積極的にかかわっていくことです。同時に、地域の皆さんはぜひ、子どもやその保護者に優しい気持ちで接してください。温かな手を差し伸べ、たくさんの安心で子どもを育てていく社会を築いていきましょう。

働くママをサポート!

ワーママを楽しむ会ファシリテーター

水島 栄美子さん

完璧を求めず、周囲にも助けを求めよう

ワーママを楽しむ会は、仕事をしているお母さんが日曜に集まり、月曜からまた頑張ろうとパワーをもらえる会になればと思います。昨年からは開催しています。働くママは、仕事や家事、育児に追われて時間がなく、子どもが急に発熱した時などに会社を休まざるをえないなど、いろんな悩みを抱えています。

ただ、あまりにも一人で背負い過ぎると自分がつぶれてしまいます。何事にも完璧を求め過ぎず、夫や親、同僚、友人などに育児や仕事を手助けしてもらいましょう。そして、どうしても息がつかない時は上を向いてください。空を見たり、視点を変えて人に話してみたりすることで、解決の糸口が見えることもあるはずですよ。

「石川県文化財保存修復工房」

地方自治体唯一の修復工房

のような保存修復施設を、地方自治体として設置するのは石川県だけで、貴重な文化財を後世に引き継ぐ大切さを感ずることが出来ます。ぜひお越しください。



ガイダンス室は工房の情報発信機能を担います

県文化財保存修復工房の役割

① 文化財を後世に伝える

長年にわたって培われた伝統的な修復技術を生かし、貴重な文化財を後世に伝えていきます。

② 情報の収集・発信

日々進歩する修復技術や作業中に発見した情報を収集し、文化財保存の大切さを発信していくのも重要な役割です。

③ 後継者の育成

修復技術に磨きをかけ、次世代に継承していくため、若手技術者の指導、育成も行っています。



石川県文化財保存修復工房の技術者、中越一成さんに聞きました。

石川県文化財保存修復工房
金沢市出羽町1-1 TEL.076(221)8810
(県立美術館隣)

- 開館時間/ 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
 - 休館日/ 年末年始
 - 見学/ 無料
- www.ishibi.pref.ishikawa.jp



- 1 漆工芸に特化した作業室も確保
- 2 表具修復室は大きな作品も広げて扱えるゆとりあるスペースに

石川県文化財保存修復工房が今年4月、県庁出羽町分室から移転し、県立美術館広坂別館に隣接してリニューアルオープンしました。同工房は文化財の保存修復を行い、国宝や国指定重要文化財などとも手がけています。今回のリニューアルで漆工芸品の専用修復室を新設し、掛け軸や屏風、古文書などを扱う表具修復室のスペースも拡大しました。湿度や温度など、それぞれの文化財に最適な環境で修復作業にあたれるようになっています。

さらに、全国で初めて修復作業の見学スペースや、作業工程を紹介するガイダンス室を設けるなど情報発信にも努めています。

工房開設以来、国や県、市町などの指定文化財の修復を数多く手がけてきました。

修復の一例

石川県指定有形文化財『印鑰明神垂迹図』

印鑰神社(七尾市)が所蔵する南北朝時代の作とされる掛け軸は、絵の具がはがれ落ちていたり、染みがあったりしたので、これらを修復しました。



今年4月の熊本地震、震度7の揺れに2度も襲われるなんて、専門家さえ予想できませんでした。発生当初の混乱が収まるのを待って、余震に警戒しながら避難所などから自宅に戻った方が多くいましたが、その虚を突くように起きた2度目の本震で、倒壊した自宅の下敷きになる犠牲者が出ました。

台風や豪雨などと違い、地震の正確な予測は科学技術が発達した現代でも極めて困難です。ですから、万に備えていかに防災力を高めておくかが、被害を最小限に食い止めるカギです。

まず、自分の身を守るために自宅からチェックしましょう。もし耐震性が足りないなら補強し、屋内の家具も固定して倒れないようにすることが大切。また、「シエイクアウトいしかわ」で多くの方が体験されているように、地震の揺れを感じたら「しゃがむ、隠れる、じっとする」といった安全行動が肝心です。ぜひ、今号の特集を参考に、家族の皆さんと防災について話し合ってくださいと思います。



「のど元過ぎても熱さ忘れない」防災を

で現場の様子を見聞きし、防災意識が高まります。ですが、そうした意識は時間の経過とともに薄らぎがちです。犠牲となった尊い命を無駄にせず、災害から学んだことを次に生かすことが、後に残った者の責任ではないでしょうか。

例えば、震度6強を記録した能登半島地震を機に、県では地域で自主防災組織のリーダーとなる防災士の育成に力を入れ、発生から9年余りがたった今日、おかげさまで人口比では全国トップクラスの約3千9百人となつています。県内の町内会数はおよそ4千なので、もう少しで1町会に1人の防災士がいる計算になります。

「のど元過ぎても熱さ忘れるな」。こと防災に限っては、この言葉を諺としたのです。皆さまも自宅での対策だけでなく、地域で行われる防災訓練などに積極的に参加され、防災の盲点である「忘れる」を時タリセットしながら、かけがえない命と財産を守ろうではありませんか。

ところで、災害が起こってしばらくは、報道など

smile 石川のボランティア



能登町老人保健
ビジター会
(能登町)

笑顔と一緒に 元気を届ける 介護予防や地域の見守りに力

「能登町老人保健ビジター会」は、町内の60〜80代の女性でつくるボランティアグループです。お年寄りが集まるお楽しみ会や高齢者福祉施設など、メンバーの訪れる先はいつも、笑い声に包まれています。「介護予防を目的としたゲームやリズム遊びをしたり、認知症への注意を呼びかける寸劇をしたりと、多彩な出し物を披露します」と、教えてくれたのは会長の高木米子さん。軽妙な語り口やユーモラスな演技に、会場は明るく元気な笑顔でいっぱいになるそうです。



笑いあふれる楽しい寸劇で、高齢者の方に介護予防の大切さをPR

役員の皆さん。同会は、介護予防の基礎知識などを学ぶ養成講座の修了生がメンバーとなり、活動しています



●問い合わせ
能登町老人保健ビジター会
代表 高木 米子
【事務局:能登町健康福祉課】
能登町松波13-75 TEL 0768(72)2504

また、同会のモットーは、「できる人が、できる事を、できる時に」とのこと。メンバーは、普段の暮らしの中でも、積極的に声をかけをするなど、高齢者の見守りに努めています。「楽しいから続けられます。お年寄りの方々と触れ合うボランティアが、私たちにとても大きな生きがいなんです」と、高木さんは話します。平成9年の結成から19年、能登町では、「笑顔」を架け橋に結ばれたメンバーと地域のお年寄りとの交流が、安心して暮らせるまちづくりにつながっています。

県内のボランティアに関する情報は

石川県社会福祉協議会ボランティアネット



夏休み どこ行く? なにする?

子どもたちにとって、お待ちかねの夏休みが目前に迫っています。「どこ行く? なにする?」と、楽しいおでかけを計画中という方も多いことでしょう。そこで、ふるさと石川ならではのおすすめプラン3つを紹介します。

私たちがひと足お先に体験してきました!



米谷さんご家族 (金沢市在住)
亮一さん、美緒さん、
一吹くん(小学2年)、一葉さん(小学4年)

開館中はいつでもOk!

いろいろな時代衣装に着替え なりきり体験

国の重要文化財に指定されている赤レンガが印象的で、「いしかわ赤レンガミュージアム」の愛称で親しまれる県立歴史博物館。平成27年にリニューアルオープンし、石川の祭りを体感できる大迫力のシアターや、加賀百万石の大名行列を再現した模型などのさまざま

な展示を通して、古代から現代までのふるさとへの移り変わりを知ることが出来ます。

気軽に足を運べるフリースペース(無料)の交流体験館もあり、中でも来館者に人気なのが、「へんしんクローゼット」です。弥生時代の貫頭衣や平安貴族の狩衣、明治時代の社交界をイメージしたドレスなど、さまざまな衣装を身につけられますよ。

兼六園を中心とした兼六園周辺文化の森には、美術や伝統工芸、能楽、歴史、文学など多彩な施設が充実。夏休み期間中には、家族で参加できる特別イベントも数多く用意しています。「兼六園周辺文化の森」または各施設のホームページで、ぜひ最新情報をチェックしてください。

プラン1

兼六園周辺文化の森で いしかわの歴史・文化を 楽しく学ぼう!



いしかわ赤レンガミュージアム 県立歴史博物館



「へんしんクローゼット」は、交流体験館2階の「歴史体験ひろば」で実施しています。一葉さんはお姫様、一吹くんは加賀藩祖・前田利家公モデルの甲冑を選択。かわいらしく、ピシッと決まった姿で、記念撮影を行いました。

歴史体験ひろば

イベント 8/5~8/21は 夏のミュージアムウィーク

いしかわ赤レンガミュージアム(県立歴史博物館、加賀本多博物館)では8月5・6日、壁面に映し出される一期一会の光の芸術を楽しむデジタル掛け軸を、県立能楽堂では19日、女優・紺野美沙子さんの朗読会を開催。このほか、お子さんの夏休みの宿題に役立つ多彩なワークショップを実施します。詳しくは「兼六園周辺文化の森」のホームページでご確認ください。

いしかわ赤レンガミュージアム 県立歴史博物館

金沢市出羽町3-1 TEL076(262)3236
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/年末年始、展示替期間
入館料(常設展)/一般300円、
大学生240円、高校生以下無料
※交流体験館は無料

県立能楽堂



8月6日に
イベント開催

普段は見られない裏側も 能楽師がご案内

石川を代表する伝統芸能の一つが能楽です。特に、宝生流という流派が盛んで、「加賀宝生」とも呼ばれています。県立能楽堂は加賀宝生の拠点で、80年以上の歴史を刻む能舞台では定期的に能楽が催されています。

能楽の世界をお子さんと一緒に体験できるイベントが、8月6日に実施する「能楽探検ツアー」です。ツアーでは普段はなかなか見

られない楽屋や能舞台の裏側などを紹介。能楽師の指導を受けながら能面を着用するなどの貴重な経験もできます。

また、県立能楽堂では、7~8月の毎週土曜に、夏の恒例イベント「観能の夕べ」を開催しています。能は初めてという方でも楽しめる内容になっていますので、この機会にぜひご鑑賞ください。

探検ツアー①

能面を着用



能楽師の先生に教えてもらいながら、鏡の間で能面を付け、能舞台まで続く橋掛りを歩いてみました。能面は上を向くと喜んでるように、下を向くと悲しそうに見えます。「能面のように聞くと無表情を思い浮かべますが、むしろ表情豊かです」(美緒さん)。

探検ツアー②

能舞台下を見学

能舞台の下をのぞくと、そこには直径80センチ、深さ60センチのかめが11個も埋めてあり、拍子を踏む際の音響効果を高めています。



ココにかめ!

米谷家からの ワンポイント



一吹くん&一葉さん

歴史博物館は、大迫力のお祭りを疑似体験したり、大きな模型があったりと、ほかにも楽しめる場所がいっぱいありました。能楽堂の舞台下は、少し暗くてちょっとリドキドキでした。

県立能楽堂

金沢市石引4-18-3 TEL076(264)2598
開館時間/9:00~22:00(見学は17:00まで、16:30までに入館してください)
休館日/月曜、祝日(文化の日を除く)、年末年始
※定例能、観能の夕べの詳細は(公社)金沢能楽会、県立能楽堂のHPをご覧ください。

いしかわ子ども 文化体験チャレンジスクール 〜進め! 出世街道〜

いしかわ文化将軍
目指して出陣じや!

県では今年度子どもたちに石川の多彩な文化に親んでもらうため、「いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール」を進め! 出世街道」を実施しています。小・中学生対象のスタンブラーで、兼六園周辺文化の森の文化施設を中心に行う文化体験に参加すると、スタンプを押してもらえます。スタンプの台紙(御朱印帳)は、各施設で配布しています。

スタンプの数に応じて足軽から文化大将、文化大名へと出世でき、15個集めると「いしかわ文化将軍」に認定。ランクアップするたびに特製パッチがもらえ、さらに文化大将以上になると県立歴史博物館や県立美術館などの引換所で記念品もプレゼントしています。

スタンプ押印

今回、米谷さんご家族が体験した歴史博物館と能楽堂の企画もスタンプラリーの対象です

スタンプを集めるのも楽しいよ!

パッチを手ににこり
スタンプ2個で「足軽」に。各称号ごとに
かわいらしいイラスト
が入っています。

夜の水族館・動物園も魅力いっぱい

のとしま水族館といしかわ動物園では、夏だけの限定企画として大人気の「夜の水族館」と「ナイトズー」を今年も開催します。昼間とは違った生き物たちの生態や施設内の雰囲気を楽しめます。開催日時や料金などは各施設のホームページをご覧ください。



プラン3 白山の大自然を満喫

白山白川郷ホワイトロード

TEL076(256)7341(白山林道石川管理事務所)
 供用時間/6月~8月 7:00~18:00
 9月~11月 8:00~17:00
 ※供用期間は毎年異なります。ご確認のうえ、ご利用ください。
 通行料金/普通車片道1600円(往復2600円)
 軽自動車片道1400円(往復2200円)
 ※詳細はホームページ「白山白川郷ホワイトロード」でご覧ください。

白山白川郷ホワイトロードの通行料金は、昨年から割安になりました。世界遺産の白川郷とセットで楽しめる点も大きな魅力です。



米谷家からのワンポイント 亮一さん

白山白川郷 ホワイトロード



ホワイトロード見どころ②

ふくべの大滝

落差86メートルの大滝で、むき出しの岩にぶつかって水煙が上がるさまは必見。ホワイトロード随一の名所となっています。

ホワイトロード見どころ①

蛇谷園地

蛇谷園地はブナやミズナラの天然林に囲まれています。園地から行ける温泉の足湯(土日祝日に利用可)、日本の滝100選の姥ヶ滝も人気です。

8月31日まで 夏山シーズン

日本三名山の白山に挑戦



白山登山

夏の白山は、クロユリやハクサンコサクラなどの高山植物が咲き競う登山のベストシーズンです。石川県民なら一度は登りたい白山に、この夏、挑戦してみたいかがでしょうか。

多くの登山道のなかで、多くの人が利用するのは、最短の砂防新道。天気が良ければ、花と展望が魅力の観光新道もオススメです。ただし、計画には余裕を持って、白山室堂など山小屋の予約も忘れずに。

白山室堂

TEL076(273)1001(白山室堂予約センター)
 開館時間/5月1日~10月15日
 料金/1泊2食付き 大人8100円
 中学生以下6400円

※登山は自己責任が原則です。安全な登山を行うための登山計画書(登山届)を作成し、事前に警察に提出しましょう。市ノ瀬・別当出合のポストに投函することもできます。詳細はホームページ「石川県 登山計画書」でご覧ください。

毎日2回、開催 カワウンやアザラシとも友達に

裏側探検隊では、エサを保管するマイナス25度の冷凍庫に入ったり、飼育係さんに質問したりすることで、いろんな発見ができました。知ることでより水族館を楽しめましたよ。



米谷家からのワンポイント 美緒さん



カワウンにパイプを通しておやつをあげたり、アザラシの背中に触ったりもできます。かわいい姿に大人も夢中になれるのとしま水族館の人気企画です。

プラン2 生き物の不思議を発見

自然や動物が大好きなお子さんには、県内の人気お出かけスポット「のとしま水族館」「いしかわ動物園」「石川県ふれあい昆虫館」へのお出かけはいかがでしょう。この季節だけのふれあいイベントや特別企画も目白押しで、何度訪れても新しい発見ができるはずですよ。

のとしま水族館

七尾市能登島曲町15部40 TEL0767(84)1271
 開館時間/9:00~17:00(12月1日~3月19日は~16:30。
 入館は閉館の30分前まで)
 休館日/年末(12/29~31)
 入場料/一般1850円 中学生以下(3歳以上)510円

毎日11時、16時ごろに実施

ジンベエザメのエサやり



大きな水槽の中を泳ぐジンベエザメ。お食事する様子も迫力満点で、のとしま水族館では上からも下からもその姿を見ることができます。

毎週土曜日に開催(繁忙期を除く)

水族館裏側探検隊



まるで迷路のような水族館の裏側を巡ります。水槽の裏側やエサを準備する場所など、水族館のお仕事がよく分かる約40分のツアーです。

1日5回開催

イルカ・アシカショー



大迫力のジャンプやかわいいダンスなど、水族館の人気者によるショーは見逃せません。

のとしま水族館

のとしま水族館では、国内の水族館でも数少ないジンベエザメや見事なショーを披露するイルカなど、能登半島近海の生き物を中心に約500種4万点を飼育展示しています。

8月31日までは、水族館近くの浜辺でイルカとのふれあいビーチを開催。毎週土曜日は、水族館の裏側を飼育係が案内する裏側探検隊を実施するなど、特別企画も満載です。見るだけでなく、生き物たちとふれあい、友達になれる水族館です。

ジンベエザメやイルカなど人気者たちとふれあおう

7/15~8/31に開催

イルカとのふれあいビーチ



イルカの背中やお腹をなでたり、イルカが投げ輪を拾ってきたりと、忘れられない思い出いっぱいの癒やしのひとときを過ごせます。
 【利用料】一般2050円、
 小・中学生1020円
 ※対象は小学生以上

いしかわ動物園



楽しく遊べ、学べるいしかわ動物園ではゾウやキリン、ライオンなどを展示するほか、天然記念物トキの分散飼育にも取り組んでいます。キリンへのエサやり体験などドキドキのふれあい企画も盛りだくさんです。

いしかわ動物園

能美市徳山町600番地 TEL0761(51)8500
 開館時間/9:00~17:00(11月1日~3月31日は~16:30。入園は閉館の30分前まで)
 休園日/火曜(祝日の場合は翌平日が休園) 年末年始(12/29~1/1)
 入園料/一般830円、中学生以下(3歳以上)410円

石川県ふれあい昆虫館



石川県ふれあい昆虫館では、8月31日まで「こん虫夏まつり2016」を実施。世界のコガネムシ、ハナムグリの特集展示のほか、昆虫館の職員と生態園で昆虫採集を体験できます。

石川県ふれあい昆虫館

白山市八幡町戊3 TEL076(272)3417
 開館時間/9:30~17:00(11月1日~3月31日は~16:30。入館は閉館の30分前まで)
 休館日/火曜(祝日の場合は翌平日が休園) 年末年始(12/29~1/1)
 入館料/一般410円、小・中・高生200円

Information “観光”で石川県をさらに元気に!

イベントでふるさとの魅力発見!

10月15日まで開催中! 能登ふるさと博

能登半島4市5町全域を会場に、祭りや催事などが開かれる一大イベント「能登ふるさと博」。今年も10月15日までの期間中、週末を中心に、キリコ祭りや蔵コンサートなど、多彩な企画を実施しています。



勇壮な石崎奉燈祭は8/6(土)に開催(七尾市)



のどん 能登ふるさと博 マスコットキャラクター

問い合わせ

「ほっと石川」観光キャンペーン実行委員会 (事務局:県観光企画課) TEL 076(225)1542



ひやくまんさん 石川県観光PRマスコットキャラクター

8月8日募集開始! ほっと石川観光応援債 利率:個人向け国債+0.1%

応援債で誘客を促進

県内各地の魅力づくりや国内外からの誘客促進に生かすため、8月8日から「ほっと石川観光応援債」を募集します。

抽選で県内旅館・ホテル宿泊券や能登棚田米が当たる購入特典もあります。



- 発行額: 50億円(先着順)
※お1人様(1法人)10万円~2000万円(10万円単位)
- 償還期限: 5年(満期一括償還)
- 取扱店舗: 北國銀行および三井住友銀行の各営業店

問い合わせ

県財政課(ほっと石川観光応援債担当) TEL 076(225)1257

セキスイ製

ポータブルトイレ

無償交換のお知らせ

お問合せ 積水化学工業株式会社 ポータブルトイレ回収窓口 [受付時間] 9:00~19:00 ※土・日・祝日・年末年始を除く

SEKISUI 【製造・販売元】 積水ライフテック(株)

0120-011-578 (無料)

※お客様からご提供いただきました住所、氏名、電話番号などの個人情報には本件の対応以外には使用いたしません。
FAX 0120-231-756 (無料) E-mail products_i@sekisui.com
所在地 〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17 ※FAXやE-mailの場合は住所・氏名・電話番号を記入してください。

事故防止のために対象商品を回収し、代替品と交換致します。[広告]

対象製品 確認方法

すき間が約10cmあり
転倒時、すき間に頸部をはさむおそれがあります

すき間(約10cm)



羨望の眺望

地上40m!
最上階共有スカイラウンジからの絶景を日常のものに

和倉温泉 能登島
JR七尾駅 グラン・リーヴァ七尾 マンションギャラリー
七尾市役所

お問い合わせは 0120-770-722

グラン・リーヴァ七尾
Grande Riva Nanao

モデルルーム 見学会開催

お電話でご予約の上、ご来場ください。
《水曜日休日》
資料請求は、WEBページから。
<http://www.shiotani.co.jp/riva/>
検索

スマホからもご覧いただけます▶

〒926-0021 石川県七尾市本府中町4-49-1 AM10:00~PM7:00

事業主/設計/施工/売主 塩谷建設株式会社

〒923-8545 石川県美加市石浜6番地の1
TEL 0764-23-4536(代)
〒926-0021 石川県七尾市本府中町4-49-1 235号
[社] 全国宅地建物取引業協会正会員
[業] 国土交通省大臣官庁認定 国土交通省大臣官庁認定 国土交通省大臣官庁認定

前略 石川県知事

県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください



住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)
石川県広報広聴室『前略 石川県知事』あて
TEL 076(225)1362 FAX 076(225)1363

ふるさと納税

「ふるさと石川」の魅力アップに活用します。県外在住のご協力者を紹介してください。

●問い合わせ
石川県県民交流課 TEL 076(225)1361
www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/furusatonouzei/



環境保護のため、大豆インクを使用しています。紙は資源です。リサイクルしましょう。